

# 地域医療連携だより

## ▶ 整形外科からのお知らせ

# BKP



日本脊椎脊髓病学会認定脊椎脊髄外科指導医・西島副部長（左）  
日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医・平井医師（右）

### BKP（経皮的椎体形成術）とは？

Baloon Kyphoplasty の略で、日本語では経皮的椎体形成術といいます。

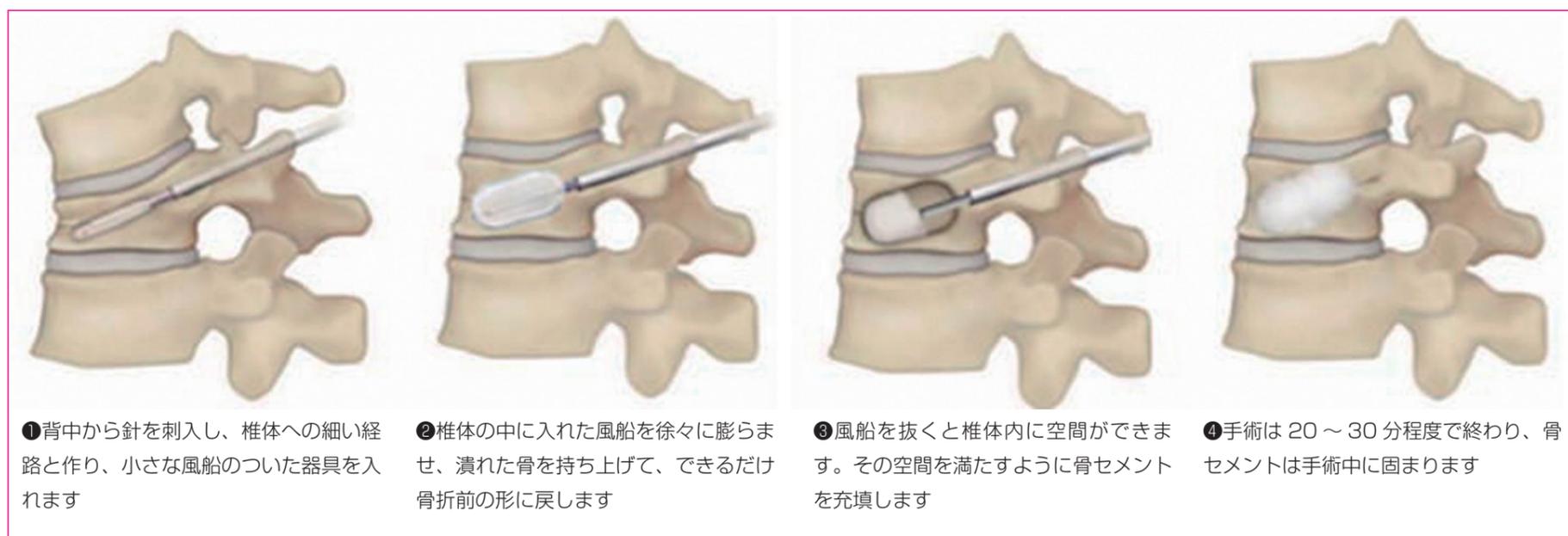
人間、とくに女性は年齢を重ねていくと骨粗鬆症などにより骨がもろくなり、ちょっとした転倒や打撲で骨が折れやすくなります。なかでも大腿骨頸部、脊椎（背骨）、手首の骨などが折れやすくなります。このなかで脊椎の骨折の治療法として選択できるのがBKPです。

#### ●脊椎の骨折について

転倒や転落、尻餅などが原因で起こりますが、何もしていないのに脊椎の骨が潰れてしまうこともあります。椎体という骨が潰れると当初は激しい痛みを伴いますが、安静にすることでギプスやコルセットなどで固定し、骨が固まってゆくにつれて徐々に痛みが消えていきます。ところがうまく固まらずいつまでも骨がぐらぐらしている状態が続くと、強い痛みが続いてしまいます。

### 手術方法は？

BKPは、ぐらぐらする背骨を固めて痛みを止める手術です。全身麻酔で背中に約5mmの切開をし、潰れた背骨の両側から細い経路を作り、そこから潰れた椎体の中に丈夫な風船を入れ、骨の中で風船を膨らませ、潰れを直し、骨の中に空洞を作ります。その後、空洞に骨セメントを充填して、骨の内側から固めます。手術は20～30分で終了し、ほとんど出血もありません。また、この手術方法は認定資格が必要であり、トレーニングを受けた医師のみが施行できます。



①背中から針を刺入し、椎体への細い経路と作り、小さな風船のついた器具を入れます

②椎体の中に入れた風船を徐々に膨らませ、潰れた骨を持ち上げて、できるだけ骨折前の形に戻します

③風船を抜くと椎体内に空間ができます。その空間を満たすように骨セメントを充填します

④手術は20～30分程度で終わり、骨セメントは手術中に固まります

### メリットは？

BKPの利点は手術の侵襲が少ないことと、ぐらぐらした骨を固めることですぐに痛みが緩和されることです。痛みが軽くなるため翌日から起きて歩くことが可能で、中には痛みが全くなくなる方もおられます。

### その他

入院費用・期間は、椎体数等により異なります。また、適応に限りがあります。医療費が高額と予想される患者さんについては、高額療養費の対象になります。医事課にお問合せください。